

不登校児童生徒も 安心して学べる場 を創る

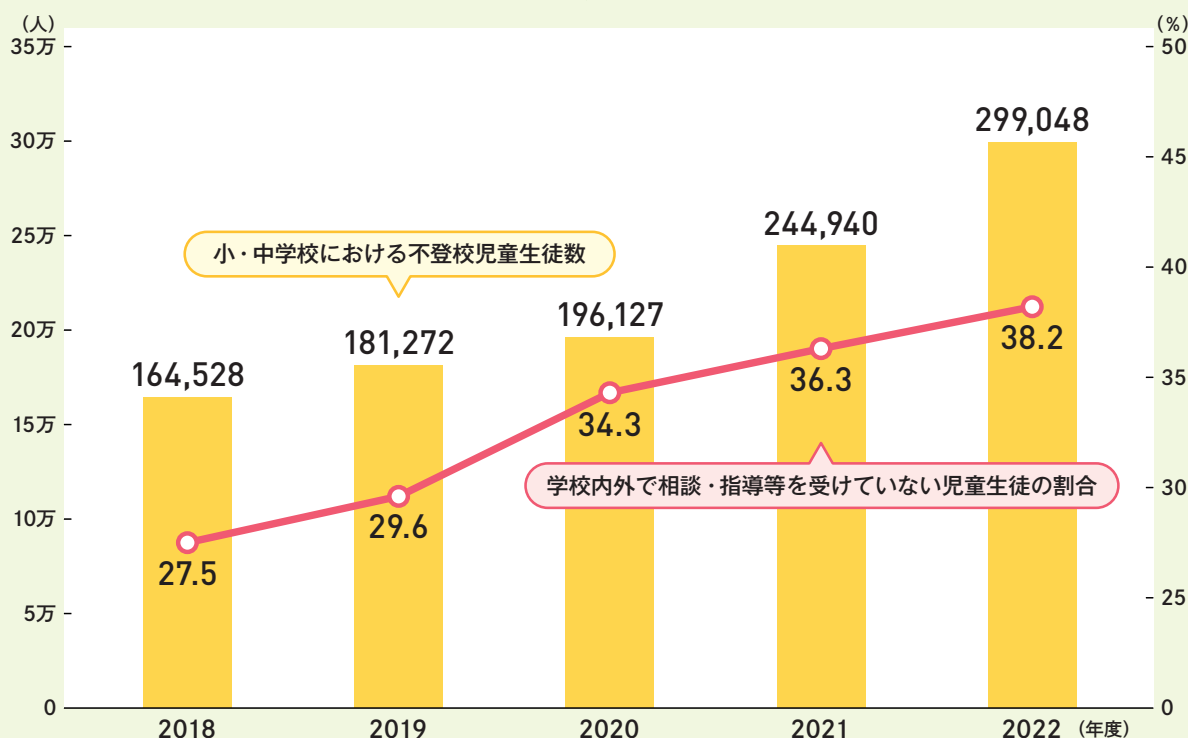
文部科学省の調査では、不登校児童生徒数（小・中学校）は年々増加し、2022年度は過去最多の約30万人で、うち学校内外で相談・指導等を受けていない人数は約4割に上った。

そうした中、不登校児童生徒の学びを保障しようと、学校内の別室や学校外の教育支援センターなど、学びの場を学校内外に広げる動きが強まっている。

不登校の予防や学びの場の多様化などに向けて、どのような施策を進めていけばよいのか。

文部科学省の施策や有識者の解説、各教育委員会の取り組みを通じて考える。

小・中学校における不登校の状況



* 文部科学省「令和4年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」を基に編集部で作成。